

令和 6 年
2月1日(木)
13:30～17:00

オンライン
開催

※事前の申し込み
が必要です

令和5年度 林木育種成果発表会

～多様な森林の造成・保全と
持続的資源利用に貢献する林木育種～

森林資源の充実に伴い主伐が増加する中、森林の多面的機能の維持・増進を図りつつ、持続的な林業経営を確立するためには、優良な品種の開発及びその早期普及が必要となっています。

特に、再造林の低コスト化、花粉発生源対策、気候変動適応等の社会的、経済的ニーズに対応した優良品種を開発することに加え、ゲノム編集による育種技術、効率的な形質評価技術、原種苗木の増産技術等を開発し、品種開発や原種苗木生産の高速化、効率化を図ることが必要とされています。

また、気候変動や外来種が生物多様性に及ぼす影響を考慮すると、林木遺伝資源の収集・保存がますます重要となっています。

令和5年度育種成果発表会では、林木育種センターと森林バイオ研究センターが取り組む、最新の林木育種の研究成果を発表します。

◎ 特別講演 樹木の成長解析と林木育種への応用

京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻
教授 小野田 雄介

◎ 特別報告 神奈川県の花粉症対策と林木育種の取組

神奈川県自然環境保全センター 研究企画部
研究連携課 主任研究員 齋藤 央嗣

○ 成果発表（林木育種センター・育種場・森林バイオ研究センター）

令和5年度の品種開発

育種部 育種第一課
育種調査役 大平 峰子

スギにおけるエリートツリー等の原種増産技術の開発

育種部 育種第二課
課長 田村 明

関西育種場におけるヒノキさし木品種開発に向けた取組

関西育種場 育種課
課長 磯田 圭哉

九州地方におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種の取組

九州育種場 育種課 育種研究室
室長 松永 孝治

絶滅危惧種オガサワラグワ自生地の更新実生の種・雑種判別
－外来種シマグワ駆除に向けた小笠原支庁との取組－

遺伝資源部 保存評価課 特性評価研究室
主任研究員 玉城 聡

ゲノム編集による無花粉スギの開発とその展望

森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室
主任研究員 七里 吉彦

※発表題名については、変更となる場合があります。

主催：（国研）森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター

お問合せ先：育種企画課 福山・森山

TEL：0294-39-7002

FAX：0294-39-7306

E-mail：ikusyu@ffpri.affrc.go.jp



Webサイト

申込方法等詳細はWebサイト <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/research/news/2023/r5seikahappyokai.html>をご覧ください。